

10月26日（火） さくら

おしごとや制作を通して子ども達の魚への興味が広がっていたので、色々な種類の魚を用意してみました。

本物の魚に触れてみると・・・



「さんまの口の中は黄色い！」と発見があったり、魚によって部位の場所が違うことに気が付いたり、本物に触れるからこそ感じたことが沢山あったようです。

自分で制作した魚と本物を比べる人もいました。



お寿司作りや骨取り



今日触れた魚は生きていませんが、命があったものです。その命を私たちは頂いているということ、みんなで考えてみました。食事の時の「いただきます」。「魚のいのちを食べて元気になるねってこと」、「いのちのあるもの全部に言いたい」、「大事な言葉だとわかった」と、今日のことを通して大切なことに気が付いたようでした。

合わせて海が汚れて生き物が少なくなっていることを伝えると、海を綺麗にする方法を考えたいとのこと。いのちについて考える機会がたくさん増えそうですね。

